

令和4年2月25日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）学校経営方針の在り方について

特色ある学校づくりの目的化を防ぎ、生徒の自律を引き出すためには、現行の学校経営計画の在り方のままで良いのか疑問に感じるが、現状をどのように評価しているのか、教育長の所見を伺う。

（答）

本県におきましては、児童生徒の主体的な学びを促す「学びの変革」を推進することにより、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造することのできる人材の育成に、取り組んでいるところでございます。

この「学びの変革」を学校の実態に即して推進していくためには、各学校が「育てたい生徒像」を明らかにし、必要な特色づくりやその道筋などを、学校経営計画に位置付ける必要があるものの、県教育委員会として、これまでこれを求めておらず、学校経営計画の具体性が不十分であるなどの課題がございました。

このため、今年度、経営計画の中に書き込むべき大きな柱の一つとして「育てたい生徒像」を加え、生徒に主体的な学びを促す内容とするよう改善を図ったところでございます。

これを踏まえて、教育委員会といたしましては、現在、各学校の新年度の経営計画につきまして、

- ・ 生徒に向けたものとして、分かりやすく、学校の実態に即した教育目標の設定
- ・ 具体的な実効性の確保

などの観点から、計画の充実を図るよう、学校と連携して改善を図っていくこととしているところでございます。

今後、「育てたい生徒像」を位置付けた経営計画の定着を図ることなどにより「学びの変革」を推進し、全ての生徒が右肩上がりに成長していけるよう取り組んでまいります。